学校だより No. 3

香いを永く伝えよや

山ノ内町立南小学校
令和７年５月２９日
文責：市川

5月校長講話 ～ぬくもりのリレー～

５月１４日（水）に行われた校長講話は、「いろいろな気持ち」をテーマに、人と人との関わりの中で生まれる思いやりや親切の大切さについて、全校で考える時間となりました。

講話は、保育園児が歌う曲を聴くことからスタートしました。歌の中には、「うれしい」「かなしい」「たのしい」「さびしい」など、日常にあふれるさまざまな感情が織り込まれており、子どもたちは自然と心を寄せて聴いていました。

その後、「うれしい気持ちになるのはどんなとき？」という学校長の問いかけに、子どもたちは一人ひとり自分の経験を振り返りながら、「友だちとおにごっこをしたとき」「プレゼントをもらったとき」「家族とお出かけをしたとき」など、温かいエピソードを発表してくれました。それぞれの発表には、その子なりの「うれしい」のかたちがあり、子どもたち同士が心を通わせるきっかけとなっていました。

次に紹介されたのは、絵本『バスが来ましたよ』（文：由美村嬉々、絵：松本春野）でした。このお話は、視覚に障がいのある山崎さんという男性と、毎日バスを待つ彼を手助けする小学生たちの交流を描いた実話をもとにした物語です。子どもたちは、主人公の山崎さんが毎朝感じていた不安や、子どもたちが示した小さな勇気や気づかいに、静かに耳を傾けながら心を重ねていました。

絵本を読み終えたあとには、子どもたちから感想が寄せられました。６年生は、「山崎さんは定年退職を迎えるとき、これまで支えてくれた子どもたちとの別れがきっと寂しかったと思う」と、相手の気持ちを想像しながら、優しい言葉で語ってくれました。３年生は、「一人でバスに乗る山崎さんが心配だったけど、子どもたちが助けてくれて本当に良かった」と、素直な感動を口にしていました。

学校長は、この子どもたちの行動を「ぬくもりのリレー」と表現しました。日々の生活の中で、ちょっとした気づきや思いやりが、相手の心を温め、次の優しさへとつながっていく。そしてそれが受け継がれていく。そうしたリレーのような行いが、実は私たちの学校生活の中にも息づいているのだということを、改めて子どもたちに伝えました。

南小学校でもこの「ぬくもりのリレー」はさまざまな形で見られます。たとえば、児童会が中心となって取り組んでいる「あいさつ列車」や「クリーン作戦」などの活動は、学年を超えた思いやりや協力の心を育てる大切な時間です。その行動は、まさに絵本に描かれているように児童から児童へと受け継がれてきています。

こうした日々の行動が、今年度の児童会スローガン「笑顔とあいさつで楽しい学校～みんなハピハピ南小～」にもつながっています。そしてこのスローガン自体が、さらに本校のグランドデザイン「子ど

もも大人も　ワクワク楽しい　みんなが幸せな学校」の実現に向かう道しるべとなっています。
　子どもたちがこの講話を通して感じた気づきや思いが、日々の生活の中で行動に結びついていくことを願っています。そして、南小学校全体で「ぬくもりのリレー」を大切にしながら、これからも互いに支え合える温かい学校づくりを進めてまいります。

1年生を迎える会

　４月３０日（火）の３校時に、体育館で「１年生を迎える会」が行われました。児童会の子どもたちが中心となって企画・運営した会では、インタビュー、学校のルールを伝える寸劇とクイズ、全校で楽しむゲーム、１年生の発表、くす玉割りと、盛りだくさんの内容が展開されました。

　インタビューでは、「勉強が楽しい」「ブランコ遊びが好き」など、１年生のかわいらしい答えに会場が和やかな雰囲気に包まれました。寸劇やクイズでは、「落書きをしない」「掃除は静かにする」「廊下は走らない」など、学校生活の基本的なルールを上級生が楽しく伝えてくれました。
　ゲームでは「猛獣狩り」や「じゃんけん列車」で全校児童が大盛り上がり。１年生の「さんぽ」の歌の発表にあわせて、手拍子で応援する上級生の姿も見られました。最後はくす玉が割れ、「入学おめでとう」の垂れ幕が現れ、大きな拍手とともに会は温かく締めくくられました。
　児童会の皆さんの企画によるこの行事を通して、１年生と上級生の距離がぐっと近づいたように感じます。

りんごの摘花作業体験

　５月８日（木）の５校時、２年生がESD（持続可能な開発のための教育）の一環として、りんごの摘花作業を体験しました。学校近くにある２本のりんごの木を使い、地域の方々や保護者の皆様のご協力をいただいての活動です。
　はじめに、地域の農家さんであり、学校のコミュニティスクール運営委員でもある湯本将平さんからお話をいただきました。りんごの品種「ふじ」の特徴や、ご自身が地域と学校をつなぐ立場であることなどを、子どもたちにわかりやすい言葉で語ってくださいました。
　次に、学年PTA会長さんが、摘花の方法について模型を使って丁寧に説明してくださいました。子どもたちは興味津々で話を聞いていました。
　いよいよ作業の開始です。５つほどの花の中から真ん中の一輪を残し、あとは摘み取る作業は、見上げながら腕を伸ばす重労働でしたが、保護者の方々のサポートもあり、子どもたちは集中して取り組んでいました。
「花を取るのが楽しかった」「たくさんあって疲れたけどがんばった」などの感想が聞かれ、自分の手で作業を行うことの充実感がうかがえました。地域の自然とふれあい、りんご作りを通して地元の文化や人々の暮らしに理解を深める、貴重な学びの時間となりました。支援してくださった皆様、ありがとうございました。

縦割り班　顔合わせ会

５月１２日（月）のモジュールの時間に、全校児童が縦割り班に分かれての顔合わせ会を行いました。今年度も１年生から６年生までを９つのグループに分け、異年齢での活動がスタートしました。

この日はまず自己紹介を行い、お互いの「好きなもの」について話しながら、緊張をほぐしました。続いて、ボール運びゲームで協力し合い、楽しみながら交流を深めることができました。

異年齢での活動には、多くの学びがあります。高学年の児童は、下級生の話に耳を傾けながら場をまとめる中で、思いやりと責任感をもったリーダーシップを育みます。一方、低・中学年の児童は、上級生の姿から学びながら「支える力」や「協力する力（フォロワーシップ）」を身につけていきます。

学年を超えた関わりを通じて、互いを理解し、協力する力を育んでいく１年となることを願っています。

英語で自己紹介ポスターづくり

５月９日（金）の２校時、６年生が外国語の授業で「自己紹介ポスター」づくりに取り組みました。英語で自分の好きなことや得意なこと、興味のあることを、イラストなどを交えて表現する活動です。

授業では、ALT が自作のポスターを紹介してくれ、子どもたちはその工夫や表現方法に興味津々。自分たちの制作に向けてよい参考となっていました。

活動の中では、「スイーツ作りが得意」「沖縄の海に興味がある」など、それぞれの個性が光る内容が並びました。友達の意外な一面を知ることができ、お互いの理解を深める機会にもなりました。

英語専科やＡＬＴは、子どもたち一人ひとりに寄り添いながら丁寧にサポートし、楽しく安心して学べる授業となりました。

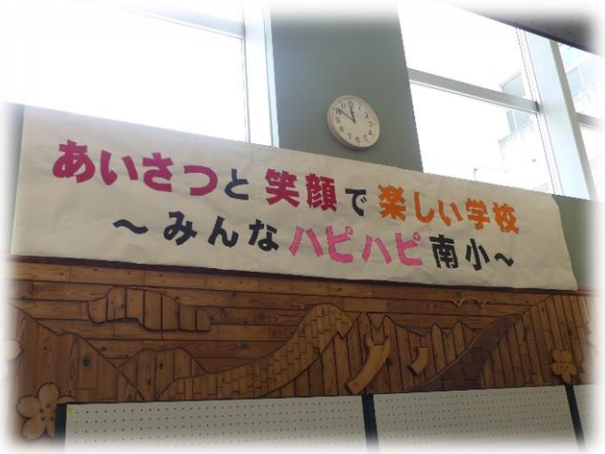
こころのアンケートと「SOS の出し方」教育

本校では、子どもたちが自分の心の状態に気づき、困ったときに自らの言葉で助けを求める力を育むことをねらいとして、「こころのアンケート」に取り組んでいます。この活動は、近年重視されている「SOS の出し方教育」と深く関わるものです。

開始早々、実際に相談の申し出がありました。その児童は「〇〇先生に相談したい」と、名前を挙げて自分の思いを伝えてくれました。これは、日頃から良好な関係があるからこその行動だと思います。

申し出の翌日には相談の場が設けられ、まずは子どもの話にしっかり耳を傾けることから支援が始まりました。学校では、「SOS を出す力」だけでなく、それを受けとめる体制づくりも大切にしています。今後も、子どもたちが安心して気持ちを伝えられる環境づくりに努めてまいります。

児童のあいさつと児童会スローガン



５月２０日（火）の町教育委員会訪問の際、本校児童のあいさつについて、教育委員の方からうれしい言葉をいただきました。「玄関に入るとき、自分から元気よく『こんにちは』と声をかけてくれた。とても気持ちのよいあいさつだった」とのことでした。あいさつをしていたのは、おそらく清掃時間に玄関掃除をしていた６年生の児童だったと思われます。

この姿は、今年度の児童会スローガン「笑顔とあいさつで楽しい学校～みんなハピハピ南小～」をまさに体現したものです。日々の積み重ねの中で、子どもたちが主体的に学校の雰囲気づくりに取り組んでいることに、大きな成長を感じます。

このスローガンは、本校のグランドデザイン「子どもも大人も　ワクワク楽しい　みんなが幸せな学校」にもつながっています。これからもあいさつと笑顔の輪が、学校、地域全体に広がっていくことを願っています。

南小の子どもを育てる会
コミュニティスクール運営委員会

５月２３日（金）に、「南小の子どもを育てる会」と「南小コミュニティスクール運営委員会」が開催されました。

「育てる会」では、地域の皆様から、子どもたちの元気なあいさつに励まされていることや、授業参観で見た子どもたちの生き生きとした姿、そして地域の大人と子どもがもっとふれあえる機会を増やしていきたいといった、温かいご意見をいただきました。

また、「コミュニティスクール運営委員会」では、７月の「かがやきタイム」に向けた講座内容について検討が行われました。山ノ内町の自然、文化、人々の知恵を子どもたちに伝える意義について、活発な意見交換がありました。

本校のグランドデザインには「子どもも大人も幸せな学校」「他者とつながる」という言葉が掲げられています。この“他者”には、まさに地域の皆様も含まれます。今後も、学校・家庭・地域が一体となり、子どもたちの成長を見守っていける関係づくりを大切にしていきたいと考えています。

みんなが笑顔の田植え体験

５年生が田植えを体験しました。実施日は給食後の午後。暑すぎず寒すぎず、まさに田植え日和の中での活動となりました。子どもたちは笑顔いっぱいで、泥の感触を楽しみながら作業に取り組んでいました。

家族の田植えを手伝った経験があり、手際よく苗を植えていた子がいました。一方、初めての田植え体験の子どももおり、「思ったより田んぼの中があたたかい」と話しながら、足の感覚を楽しんでいる様子が印象的でした。

保護者の皆様にも多くご参加いただき、田植え初体験という保護者の方が田んぼに足を踏み入れた瞬間には、思わず大きな声をあげる場面もあり、笑顔あふれる温かい時間となりました。

この取り組みは、ESD（持続可能な開発のための教育）の視点から、稲作を通して自然と人の関わりを学ぶ貴重な機会です。ご協力いただいた保護者の皆様、地域の皆様に心より感謝申し上げます。

お知らせとお願い

〇プール学習が６月１６日から始まります。引き続き、お子さんの体調管理にご留意ください。水泳学習事前保健調査票に記載があったお子さんにつきましては、学校でも特に配慮をしていきます。

〇6 月に春のなかよし週間があります。学年、担任がかわり、友だち関係も少しずつ変化していく時期です。学校では、子どもたちの実態を把握し、標語づくりや友だちの良いところをカードに書く活動、縦割り班での活動を通して、自己理解や他者理解を深めていきます。

運動会に関わるお知らせとお願い

〇前日準備が天候不順でできない場合は、ＰＴＡ理事さんはじめ子育て委員さんや地区代表者の皆様に当日朝お手伝いをいただきます。その場合はテトルで連絡させていただきますので、確認をお願いします。

〇児童・PTA・地域種目として「みんなで大玉送り」を行います。是非多くの方にご参加いただき、運動会を盛り上げていただきますようお願いいたします。

6月の予定

２日（月）　振替休日
３日（火）　児童会③
４日（水）　プール掃除、校長講話
５日（木）　体重測定（高）
６日（金）　児童集会①、体重測定（低）、６年租税教室
７日（土）　スキー振興会総会
９日（月）　春のなかよし週間（～１３日）、スクールカウンセラー来校
１０日（火）　内科検診
１１日（水）　来入児保護者会①発達検査、クラブ発足会、４年水道施設見学
１２日（木）　国際交流会
１３日（金）　５時間授業（校内職員研修のため）
１６日（月）　プール開き
１７日（火）　歯科指導（２・４・６年）、クラブ①
１８日（水）　メディアコントロール週間（～24 日）、４時間授業（町人権公開授業のため）
２０日（金）　授業参観日（５時間授業）13:50～15:30、４年生活習慣病予防教室
２５日（水）～２６日（木）　６年修学旅行
２７日（金）　６年計画休業